

東青梅老壮大学7月講座

～「(編著)おぼえています、あのいくさ 語ろう、戦争の記憶を」～

を実施しました



◀ 浅香 須磨子 先生 ▶

令和5年7月27日(木)、青梅市福祉センターにおいて浅香須磨子先生(小児科医・精神科医)をお迎えして、先生ご自身が小学生の時に経験された太平洋戦争について、お話をいただきました。

当日は、気温35度を超えるかという状況で熱中症警戒アラートまで出ている中、参加者の体調が心配されましたが、学長等を含め38名が参加しました。

今回は浅香先生が執筆された本(「(編著)おぼえています、あのいくさ 語ろう、戦争の記憶を」)の抜粋(なんでいえないわけ)を事前にお配りし、お読みいただいた上で、実施しましたので、浅香先生のお話が、より深く伝わったものと思います。

浅香先生は、戦中の日常の暮らしの変化や当時の日本を欧州諸国等と比較するなど客観的な評価をして、時系列に沿って、克明にお話されました。

浅香先生は、ウクライナ情勢や近頃危惧される台湾有事等、こんな時代だからこそ、「自分の経験を、子ども、孫に伝えて平和な時を長く続けたい。」という強い思いを語られました。



◀ 浅香先生の紹介をする
池田学長 ▶



◀ 講師の話に熱心に耳を傾ける学生たち ▶